

平成29年度富士市PTA副会長・専門部長・家庭教育委員研修会
分科会会議記録簿

平成29年6月25日(日)	会場	富士川第二小・中学校	参加者数	14名
部会名	副会長の部【小A】		助言者	小野 誠【富士一小】
司会者	(代) 田中 博道【広見小】		記録者	石川 慎也【伝法小】
テーマ				
<p>●PTA本部役員選出方法について</p> <p>●その他 ①挨拶など人前で話す場合の対応について ②役員をやらずに卒業してしまう方について</p>				
会議概要				
●PTA本部役員選出方法について				
<ul style="list-style-type: none"> ・各地区から3名～5名を選出する ・役員を2年～4年間の学校が多い ・立候補制(地区で揉めるのを避けるため) → 実践結果として6名の立候補者が出た ・ポイント制(ポイントが少ない方からお願いする、役によってポイントが違う) ・部員の選出方法と執行役員の選出方法が違う ・輪番制の学校が殆ど 				
●その他				
① 挨拶など人前で話す場合の対応について				
<ul style="list-style-type: none"> ・言いたい事だけを言うようにする ・ゼロではないが、誰も話を聞いてないので緊張しなくても大丈夫なのではないか ・人前で緊張しないようにするには、慣れもあるのではないか ・校長先生と話(挨拶内容)が被らないように、校長先生と打合せをしておく 				
② 役員をやらずに卒業してしまう方について				
<ul style="list-style-type: none"> ・気にしなければ良いのではないか ・PTA役員はやらないが、親父の会などで活動している方もいる 				
●まとめ				
<ul style="list-style-type: none"> ・何故PTAをやらなければならないのか?を理解してもらえようとする ・次につなげるには、活動の形を明確にする(マニュアル作成) ・誰がやっても困らないようなシステム作りをする ・いやいや活動するよりは、楽しく活動したい 				
<ul style="list-style-type: none"> ・以上のような改善点等や、今回の研修会で得た情報等を各学校に持ち帰り実践して頂きたい 				
●助言				
<p>・役員選出で御苦労もされています。大変ですがやって頂くと、やりがいのある・・・楽しい等のお声 もあります。根っこは子どものため、「子どもは親の言ったとおりに育たず、親のしたとおりに育つ」 ということに尽きるのではないかと・・・。親がPTA役員の活動を頑張っていれば、子どもは見て います。</p>				

平成29年度富士市PTA副会長・専門部長・家庭教育委員研修会
分科会会議記録簿

平成29年6月25日(日)	会場	富士川第二小・中学校	参加者数	17名
部会名	副会長小学校の部B		助言者	市川 清美(富士中央小)
司会者	金刺 哲弥(富士中央小)		記録者	古川 正紀(大淵一小)
<p>テーマ 役員の選出について 副会長の役割について</p>				
<p>会議概要</p>				
<p>役員の選出について</p>				
<p>一本釣りや輪番制、とくじ引きで決めるところがありそれぞれに良い点と悪い点がある。</p>				
<p>一本釣りの良い点</p>				
<p>PTA活動に熱心に取り組む人が多い。</p>				
<p>一本釣りの問題点</p>				
<p>今の時代、中々声をかけてもやってくれる人がいない。(ある小学校では幼稚園の時から目をつけて声をかけているらしい)</p>				
<p>輪番制やくじ引きの良い点</p>				
<p>計画的に人選ができる(一本釣りだとこれから行きづまるということで輪番制に替えたところもある)</p>				
<p>輪番制やくじ引きの問題点</p>				
<p>PTA活動に対しての温度差がある。</p>				
<p>くじ引きだと後々トラブルの元になる。</p>				
<p>子ども会単位で選んでいるところは子ども会に入っていない人をどうするかの問題がある。</p>				
<p>富士中央小は役員を立候補制にして成功したということなのでPTA活動のメリットをうまく伝えていくことも大事だと感じた。</p>				
<p> </p>				
<p> </p>				
<p> </p>				

副会長の役割について

会長を補佐するのが主な仕事だが学校によってまた会長が自営かサラリーマンかによってもサポートする範囲が異なる。

学校によっては専門部を経験せずいきなり輪番制で副会長になるので、専門部の活動の内容が全くわからず、戸惑いながら活動しているとの事。

同じ輪番制でも規約等で3年役制（専門部副部長→部長→副会長）をとっている学校もある。

テーマ以外では

学校によっては、月に行われるPTA活動の会議の回数が多すぎて負担になっている。

これからの少子化により役員数を計画的に減らしていく方向で活動している。

といった発言があった。

最後に助言者の先生から参加者に「役員をやったことはありますか」という問いかけがあった。

せっかく役員になったのだから楽しんで活動してほしいとのことだった。

平成29年度富士市PTA副会長・専門部長・家庭教育委員研修会
分科会会議記録簿

平成29年6月25日(日)	会場	富士川第二小・中学校	参加者数	15名
部会名	PTA副会長の部(中)		助言者	篠原 主司(富士中)
司会者	荻野 祐司(吉原東中)		記録者	遠藤 祐佐(吉原一中)
テーマ				
1. PTA役員選出について 2. PTA活動参加率向上について				
会議概要				
1. PTA役員選出について				
各校より下記の意見が出た				
<ul style="list-style-type: none"> ・1本づり 7/15校、その他(輪番・地区割振り・くじ引等) 8/15校 ・先輩後輩等からの声掛けには限界が来ている ・くじ引で当たった場合、仕方なく感やわだかまりがある ・やり手がないので役員数を減らすという考えもあるが、人数を増やして交代で休めて一人一人の負担を減らすという考えもある ・いざ役員をやると、学校との話が増えたためになることも多い ・地区割りで役員になったが、いざやると誰でもできると思う 				
※「助言者(篠原校長先生)より」				
<ul style="list-style-type: none"> ・学校学校でスタンスがあり今までやってきた。正解はないと思いますので、現役員で相談して決めてほしい ・母校でなくても、自分の子どもの学校の事なので興味を持ってもらい、役員になったら学校を知るチャンスだと思い、いろいろな事を積極的に学校に言ってほしい 				
2. PTA活動参加率向上について				
各校より下記の意見が出た				
<ul style="list-style-type: none"> ・2校合同講演会で合唱・合奏等行っているが、10月ということもあり行事の準備や受験勉強等もあり、準備が大変である ・行事ごとボランティアを募集したら結構集まった ・講演会を開催する場合、講師により参加率が違う。予算ありきになってしまっている ・奉仕作業後にP主催の夏祭りをやることにより参加率をあげている ・運動会でP行事があり、参加してもらうことにより楽しんでもらう 				

※「助言者（篠原校長先生）より」

- ・生徒先生保護者3者が一体になることが大事。行事において子どもが輝けるよう学校も考えているので、行事に参加し普段とは違う子どもを見に来てほしい

総括： 「助言者（篠原校長先生）より」

- ・役員決めにおいては、各校決め方が違うがそれぞれ一長一短がある。事情もあると思うので、役員会理事会等で相談し決めてほしい
- ・役員さんは学校に来た際には、家庭の話等も学校に伝えてほしい。学校も情報を提供する
- ・学校側はP組織があると心強いし、ないと困る
- ・役員になった以上是非とも楽しんでほしい

平成29年度富士市PTA副会長・専門部長・家庭教育委員研修会
分科会会議記録簿

平成29年6月25日(日)	会場	二中2F 1A	富士川第二小・中学校	参加者数	15名
部会名	成人教育・文化教育(小学校A)		助言者	小林真人(広見小校長)	
司会者	長澤謙(丘小PTA会長)		記録者	藤田卓志(青葉台小PTA会長)	
	<p>テーマ</p> <p>① 三校合同事業</p> <p>② PTA新聞</p>				
	<p>会議概要</p>				
	<p>① 三校合同事業</p>				
	<p><現状></p>				
	<ul style="list-style-type: none"> ・三校合同事業を成人・文化部が担当制している事に驚いた。 				
	<ul style="list-style-type: none"> ・執行部(PTA会長・副会長等)が担当制で行う学校もある 				
	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生・中学生の為、テーマの設定が難しい。 				
	<ul style="list-style-type: none"> ・子供・保護者どちらがテーマの対象? 				
	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校・中学校合同で行う意味があるのか? 				
	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生はお手伝い程度になっている事が多い。 				
	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生対象だと中学生は暇。中学生対象だと小学生は難しい。 				
	<ul style="list-style-type: none"> ・目的が不明確である。 				
	<p>↓</p>				
	<p><問題点></p>				
	<ul style="list-style-type: none"> ・次回の担当校に引継ぎが上手にできない。 				
	<ul style="list-style-type: none"> ・担当校の負担が大きい。 				
	<ul style="list-style-type: none"> ・参加率が減少傾向である。 				
	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生・中学生で共有できるテーマとは? 				
	<p><今後の課題></p>				
	<ul style="list-style-type: none"> ・目的の明確化。 				

	② P T A新聞
	<現状>
	・個人情報の取扱いが難しい。
	・データの管理は学校？P T A？
	・タイムリーに記事が発行できていない。
	・新聞発行（紙媒体）は金額が大きい。
	・金額を軽減の為、ブログ（SMS）で記事を発行する学校もある。
	<問題点>
	・個人情報は各家庭問題もある為、取扱い・管理が困難。
	・学校との確認作業が役員・教諭の負担が大きい。
	・データのウイルス感染。
	・運動会等記事を増やすとコストが上がる。
	・ブログ（SMS）で、金額負担を軽減できるが誰もが、
	閲覧可能で個人情報の管理の負担が増える。
	<今後の課題>
	・個人情報の管理と運営。
	・役員と教諭の負担の軽減。
	『助言者コメント』
	三校合同事業等、小学生・中学生では年齢の差がある為テーマ設定は難しい。
	しかし、テーマの役割・重点を小学生・中学生に違いを明確に。相互の目的を
	各学校で検討する機会があっても良いと感じる。
	P T A新聞の目的とは？時代の変化もあり、現状難しい問題である。
	部員・教諭で確認作業の負担は増大している。個人情報に関する情報管理の徹底。
	P T A新聞に限らず、各専門部、事業の目的が重要である。

平成29年度富士市PTA副会長・専門部長・家庭教育委員研修会 分科会会議記録簿

平成29年6月25日（日）	会場	富士川第二小・中学校	参加者数	17名
部会名	成人教育部（小B）	助言者	中村 弘志（吉永第二小学校校長）	
司会者	勝間田 育代（吉永第二小学校）	記録者	中西 正基（原田小学校）	
<p>テーマ</p> <p style="text-align: center;">PTA 新聞について 各種講演会や合同事業の開催内容について</p>				
会議概要				
【PTA 新聞について】				
○個人情報保護の関係から PTA 新聞の作成に苦慮している。				
○子供の顔写真を載せる場合は、学校に承諾をもらうこともある。				
○子供の写真は載せているが、名前は載せないなど配慮が必要になっている。				
○PTA 総会時に、PTA 新聞への子供の写真を掲載することを明記し、了承をもらっている学校もある。				
○PTA 新聞作成に費用が掛かっている。（10 万円～4 万円程度の学校もある）				
○PTA 新聞作成費用抑制のため、編集・印刷まで自校で実施する学校や、インターネット等を活用し 低価格（数千円で可能）の印刷業者に依頼し、費用抑制している。				
○PTA 新聞の内容では、子供達の将来の夢や、新一年生の目標などを掲載すると読まれやすい。				
○PTA の集いで壁新聞作成を行っているが、毎年学校紹介で、新規に紹介内容を検討するのに とても苦労している。				
【各種講演会や合同事業の開催内容について】				
○スマホ講座や LINE 講座などインターネットによるトラブル防止を目的とした講座を開催する 学校が増えてきている。				
○親子自然観察会や親子科学教室など、親子で参加できる事業を行うと参加者が多い場合もある。				
○ナイトウォークなどはとても人気があり、他校でも同様企画を開催している。				
○講演内容には、PTA 向けに行う学校と、児童向けに行う学校があるが、PTA 向けに行う企画には 多く参加者を集めるのに苦慮している。				

【総括】

○今回の研修会で情報交換された他校での良い取り組みを、少しでも自校に取り入れることにより
より良いPTA活動に繋がると思います。

以上

平成29年度富士市PTA副会長・専門部長・家庭教育委員研修会
分科会会議記録簿

平成29年6月25日(日)	会場	富士川第二小・中学校	参加者数	15名
部会名	成人教育部(中学)	助言者	磯野 和彦(東中 校長)	
司会者	望月 紀志(吉原二中PTA会長)	記録者	勝亦 光章(大淵中PTA会長)	
テーマ PTA新聞について				
会議概要 最初に、自己紹介をおこないました。				
各中学校より持ち寄ったPTA新聞を参照しながら、意見交換を行いました。				
各学校、持ち寄ったPTA新聞を参照しながら説明、様々な質疑応答があり、司会者、助言者が分科会を進めました。				
例として				
・・・いつも同じ内容になってしまう。				
・・・ほとんど担当の先生が作ってくれる。担当の先生に申し訳ない。				
・・・新聞に載せる写真等の、個人情報の問題				
・・・部長になったばかりで、本当に何をしたいかわからない。				
・・・作成会議で集まる回数が多いと部員さんから苦情				
・・・部長、副部長の負担が大きい。				
・・・役員が新しく変わると、新聞作成がむずかしい。				
等々出ました。				
<助言者より>				
個人情報の問題は、各校、4月の段階で保護者に書面にて確認をとっている				
子供が書いた作文等を、上手く使って新聞につかったらどうか。				
役員さんの負担が減るように、思い切って部員さんにある程度まかせてみてはどうか。				
等々助言をいただきました。				

今回の分科会は、ほかのテーマもありました。しかし、P T A新聞のテーマだけで終わってしまいました。
た。

各校、年に 2 回発行、3 回発行、カラー、白黒、紙質、大きさ等、色々な P T A新聞がありました。

次回の宿題として、各校、P T A新聞を作成するにあたっての単価がわかれば、皆さんの参考になる
なるのではないかと、助言をいただきました。

以上

平成29年度富士市PTA副会長・専門部長・家庭教育委員研修会
分科会会議記録簿

平成29年6月25日(日)	会場	富士川第二小・中学校	参加者数	14名
部会名	体育保健部(小A)	助言者	遠藤 勝秋	
司会者	望月 崇史	記録者	長澤 祥幸	
テーマ				
運動会について				
会議概要				
運動会の際、大きな問題点が2つ上がりました。				
①喫煙場所について				
②違法駐車について				
① 喫煙場所について (喫煙所以外での喫煙、校外でグラウンドの見える所での喫煙)				
意図的にグラウンドの見えないところに1か所だけ設置した。				
事前にお便り、フェアキャスト、まちコミなどで周知する。				
ベストなどを着用し、声掛けをしながら巡回する。				
隣の敷地(民家の庭先)などで喫煙する人もいるので、敷地外にも注意する。				
② 違法駐車について (近隣の店舗、コンビニに駐車する人が多い)				
時間を決めて荷物の積み下ろし用に駐車スペースを設ける(校外であれば事前に了承を得ておく)				
場内放送にて注意喚起をする。				
何台か駐車スペースを確保して、事前申請式で開放する。(障害者、高齢者を優先)				
喫煙にしても、違法駐車にしても、根本は当事者のモラルによる部分が大いだと思います。				
今後の対策として、上記のほか子供の名前を聞き出すなど、子を持つ親としてのモラルに問いかける様な方法も効果的だと思います。				

平成29年度富士市PTA副会長・専門部長・家庭教育委員研修会
分科会会議記録簿

平成29年6月25日(日)	会場	富士川第二小・中学校	参加者数	14名
部会名	体育保健部(小B)	助言者	前島 英喜	
司会者	新舟 武夫	記録者	村上 義人	
テーマ	1. PTA競技について 2. 保健の部分での他小学校の取組について 3. PTAレクリエーションについて 4. 前島英喜校長			
会議概要				
1. 親子参加型がほとんど				
吉永二小・・・PTA種目をなくし、子供VS親で綱引き				
神戸小・・・校長先生とPTA会長が先頭に立って取り組んだ結果、5・6年ぶりに参加率が増加。				
伝法小・・・マスコット(フジッピー)で参加を呼びかけ				
2. AED使い方講習				
薬学講座 (全体的に保健の部分での取り組みが少なめ)				
3. 今泉小、青葉台小・・・ナイトウォーク(夜の学校案内)で参加人数アップ。				
須津小・・・中学校でバトミントン、人気があり人は集まりやすい。				
今までジャッジ(判断)が厳し目なので、今年から変え対応。				
神戸小・・・毎年キンボールだが、人が集まらなく苦戦している。				
低学年の子供たちも楽しめるスポーツを検討中。				
伝法小・吉原小・吉原一中は3校合同でソフトバレーを開催しているが、人が集まりにくい。				
4. 当日集まりやすい種目の検討も必要では。				

平成29年度富士市PTA副会長・専門部長・家庭教育委員研修会
分科会会議記録簿

平成29年6月25日(日)	会場	富士川第二小・中学校	参加者数	16名
部会名	環境整備部小A		助言者	宮川貴志校長
司会者	望月徹		記録者	植松貞治
<p>テーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資源回収について ・奉仕作業について 				
<p>会議概要</p>				
<p>・資源回収について</p>				
<p>各校の現況、回収回数の報告。回収日を決めず随時受付している学校から年10回日を決めて</p>				
<p>行っている学校まで様々でした。</p>				
<p>そこでまず、回収量を増やす工夫について各校意見を出し合いました。</p>				
<ul style="list-style-type: none"> ・収益金の使い道、会計を明確にし買う物の目標を設定する。 				
<ul style="list-style-type: none"> ・他のPTA事業の時に持ち寄ってもらう。 				
<ul style="list-style-type: none"> ・部員さんが各地区へ回収にまわる。 				
<ul style="list-style-type: none"> ・地元企業への協力。 				
<ul style="list-style-type: none"> ・引取単価の良い業者との契約。 				
<ul style="list-style-type: none"> ・学校敷地内の道路に面している場所に回収BOXの設置するなど常時受け入れる。 				
<p>等の意見がでました。資源回収については各部長の皆さんが非常に意欲的に取り組まれていると感じました。</p>				
<p>・奉仕作業について</p>				
<p>各校の現況、実施回数の報告。年1回か2回開催。各校の作業内容、それぞれ抱えている問題点等</p>				
<p>について話し合いました。</p>				
<ul style="list-style-type: none"> ・参加者が多く、人員の振り分けが難しい。 				
<ul style="list-style-type: none"> ・蛍光灯や窓等の普段出来ない所をキレイにする。 				
<ul style="list-style-type: none"> ・お茶等の飲み物は提供した方が良いか？ 				

・植木を切るハサミ等の道具類が不足している。

等の意見がでました。問題点については作業内容を明確にし、世話役の配置を行い必要な道具類は

なるべく持参していただく。というような意見でまとまりました。

奉仕作業については様々な面で迷われている部長さんが多いと感じました、ですので運営については先生方や他のPTA役員部員さんの協力がこの先も不可欠かと思いました。

平成29年度富士市PTA副会長・専門部長・家庭教育委員研修会
分科会会議記録簿

平成29年6月25日(日)	会場	富士川第二小・中学校	参加者数	13名
部会名	環境整備部(小B)		助言者	神戸小学校 校長 望月 秀一
司会者	吉永第一小学校 PTA 会長 小塚 敏治		記録者	神戸小学校 PTA 会長 原田 繁
<p>テーマ</p> <p>資源回収の活性化</p> <p>回収方法と人配について</p>				
<p>会議概要</p> <p>司会者より、環境整備部は、「子ども達のため」を目的にどんな生活(きれいな、快適な、充実する)ができるようになるか、学校と直結しているところが多い部と思います。自己紹介を含め校区、自己紹介、校区環境整備部の活動概略を全員が発表した。</p> <p>学校目線の助言として、収益について使い道を明確にすれば、目的がはっきりして、活動が活発になるのではないのでしょうか。道具などの不足、必要なものも子供と先生だけでは不足しているところを協議して進めていただくと、見えやすくなると思います。地域との結びつき、コミュニケーションを深めていただきたいとありました。</p> <p>1. 資源回収実施回数 2~3回/年</p> <p>2. 回収している資源</p> <p>主として、アルミ缶、牛乳パック、段ボール、古紙。</p> <p>一部校区は、インクカートリッジ、テトラマーク、古着。</p> <p>古着は、嵩張る、まちづくりセンターで回収しているなどの理由で、非対象とした校区がある。</p> <p>3. 事前連絡方法</p> <p>回覧板 2ヶ月前に回覧資料を作成し、学校→子ども→役員→町内会。</p> <p>早く準備し、町内会の集会に間に合わせることで、円滑な回覧ができている。</p> <p>一部校区では町内会集会に間に合わない、地域により、回覧時間が多くかかるなどありましたが、実施タイミングを見直す意見がありました。</p>				

4. 回収方法 地域ごとに担当が決められ、回収したものを、学校に集積し、業者に引き渡す。

回収担当は、役員が行う、が多いですが、直接持って来てくださる方がいる校区もあるようです。

地域ごととは

- ・子ども会の単子ベースで分担する
- ・役員のいない地域が発生し、複数の単子にまたがり回収する
- ・地域が広すぎて（役員が少なくて）、回収できない ところもあります。

役員が回収しきれない、タイミングが合わない、雨などで中止になるなど、その他の

影響により活動できないこともあります。それに対応するべく、回収 BOX を学校に設置、

地区の集積場に PTA が回収する指定期間を設けている校区もありました。

学校に設置した回収 BOX は、火災防止（消火器）付です。

回収において、タイミングが合わず、取り残しが生じることもあり、会長、副部長など

取り残しを回収する担当を決めている校区があります。

回収したものを運ぶのに、業者さんに依頼している校区があります。

5. その他

- ・年々減少傾向にある校区もあり、活性化をは図るには、親御（おじいさん。おばさん）さん及び、子供を含めた活動となるよう、呼び掛けが良いのでは。その際呼び掛けの手法として、l i n e、メールなどを利用し、声を掛けて、交流を深めている校区がありました。

- ・自分の校区しか知らない状況の中で、申し送りなどがうまくいかず、先が見えず、不安がいっぱいという声も上がった。そんな中今回のように他校区との接点を持つて、いろいろ参考になることがある。自校区で生かしたい。申し送りについても l i n e、メールなど、現代ならではの手法もあり、有効に活用し、役員の不安を無くし、負担を少なく、活動を盛り上げていくことができるのではないかという気持ちになった方々が多かったです。

平成29年度富士市PTA副会長・専門部長・家庭教育委員研修会
分科会会議記録簿

平成29年6月25日(日)	会場	富士川第二小・中学校	参加者数	18名
部会名	環境整備部 中学校の部		助言者	富士川一中 加藤 寧 校長
司会者	須津中 菅野 大樹		記録者	富士川一中 田邊 博章
テーマ 資源回収及び環境整備作業について				
会議概要				
1. 資源回収について				
【実施回数等】				
◆未実施・・・3校（アルミ缶回収のみ2校。環境整備協力金を別途集金1校。）				
◆年1回・・・1校 ◆年2回・・・6校 ◆年3回・・・4校				
◆随時・・・1校（道路に面した学校敷地内に、古紙回収倉庫を設置し、部員が管理している。昨年度は年間56日開放。防犯上不安がある。）				
【回収方式】				
◆生徒自宅を地区担当部員がまわって回収 ◆地区内ポイントを地区担当部員がマイカーで回収				
◆学校に各自持ち込み ◆業者が指定ポイントをまわって回収...etc				
【苦勞している点】				
◆地域柄、製紙工場が多く、古紙回収BOXが校区内に多数設置されており、古紙回収率が低い				
◆回収BOXに加え、子ども会や小学校PTA、町内会などの回収もあるので、回収率が低い				
◆指定ポイントを、有志に借りたトラックで回っているため、事故の際の保険等が心配				
2. 環境整備作業について				
【実施回数・時期等】				
◆年間1回（運動会前の夏休み明け9月）・・・14校				
◆年間3回・・・1校（清掃箇所で分割実施）				

【トラックの運用】

◆無償で有志のトラックを借用（多数） ◆有償（2,000円）で有志のトラックを借用

◆市のトラックを借用（ただし、運転は先生しかできないため、実施前と実施後にトラック借用と返却のために先生が市役所を行き来しなければならず、大変であるとのこと）

【苦労している点】

◆実施時期が重なるため、クリーンセンターの搬入予約がなかなか取れず、日程を変更することになってしまった。（大幅にずらした。）

◆トラックの安定した確保が難しい。

【参加率の向上について】

◆清掃場所を決め、必要人数を算出し、担当部員が必ず人数を調達するようにしている（トラックの確保も含め）

◆部活毎に役割分担を行っている。水泳部は水泳場、といった自分が使うところを担当する。情報交換の場にもなっており、参加率がとても良い。

3. まとめ（助言者講評）

◆環境整備部の仕事は、様々な学校生活の土台を支える活動である。

◆資源回収における参加率について、たとえば何か学校で必要なものを買うなどの目標を設定し、動機づけをすることにより、より積極的な活動の促進や参加率の向上にもつながるのではないか。

◆回収率の低迷から、資源回収事業の中止を考えている学校もあるようだが、ただ単にお金を集める事だけが目的ではなく、たとえば生徒が高齢者のお宅に資源回収に行くことで、地域の課題に気付くことができたり、地域貢献にもなったりと、「子供たちを育てる」とう重要な役割も担っている点を再認識し、取り組んでいただきたい。

平成29年度富士市PTA副会長・専門部長・家庭教育委員研修会
分科会会議記録簿

平成29年6月25日(日)	会場	富士川第二小・中学校	参加者数	14名
部会名	生活指導 小学校A	助言者	渡邊良秀 富士第二小学校校長	
司会者	植松弘毅 岩松北小	記録者	光内正道 富士南小	
テーマ				
1. かけこみ110番 減少について 2. 旗当番の廻し方(交通安全) 3. その他フリートーク				
会議概要				
はじめに自己紹介を各自行った。				
1. 駆け込み110番減少について及び交通安全活動全般について 司会者より 昨今かけこみ110番が減少傾向にあり、各小学校でどのような活動を行っているか紹介して欲しいとの問いかけを行った。				
(岩松小) 部員からの声掛けを実施しているが、今年度1件減少 声掛けしようにもなかなか家にいらっしやらない				
(富士南小) 部員からの声掛けを実施 昼間住んでいないような家もあり 部員からはこういう家にも声掛けするのかという意見あり				
(富士川一小) 年2回交通・防犯の地域の方々との情報交換会実施 減少はしていない				
(田子浦) 部員がかけこみ110番の仕組みをしらない 活動がルーティンワークになっており 増やそうという活動になっていない 子供達もどこまで知っているか疑問				
(天間小) 過去スタンプラリーのような事をやって子供達に知らせていた				
(岩松小) ワークラリーやろうと検討したが、工数的に無理で 学校内に地図を張り出した				
(第二小) 部員のプレート点検活動で15件新規増加した(主に店舗) 特に部長主体(含む副部長・会長)増加している				
ここで助言者より以下の助言あった。				
1. 学校もPTAもおかしいと思ったことを言葉にする事が大事				
2. 危険な時に助けてくれる家に対し 学校では声を出させる・逃げ込めと教えている				
これに対し出席者から 子供や保護者への場所等の周知の為にかけこみ110番の位置を示す地図について各校の状況や管理方法についての話題となり 特に中央小の活動に多くの賛同があった				
(中央小) 例年2-3月から活動を開始して、最新版の地図を4月の入学式で渡す。この地図の管理は学校で管理。				
休憩 (この時間でも上記地図を各自ご覧になって各自意見交換されていた)				
2. 旗振り当番や交通安全活動全般について				
司会者より旗当番を各校どのように実施しているか紹介して欲しいとの提起があった				
(富士川第一小) 地区の理事に頼んでいる				
(岩松北) PTAから子供会に依頼している				
(中央小) 子供会の活動と誤解していたのでPTA部員で見直した				
(鷹岡小) 毎月1日に役員・部員で実施				

平成29年度富士市PTA副会長・専門部長・家庭教育委員研修会
分科会会議記録簿

平成29年6月25日(日)	会場	富士川第二小・中学校	参加者数	17名
部会名	生活指導部小学校の部B	助言者	鈴木 幸人	
司会者	磯部 裕正	記録者	小池 雅記	
テーマ				
<p>① 不審者の対応・かけこみ110番について ② 交通安全対策について</p>				
会議概要				
① ・不審者が出た場合、役員に一斉メールにて見回りを依頼。				
・フェアキャストで情報を流し、先生・役員が見回り・同行する。				
・学校から役員へ情報を発信するのみで、何事もなければ特に対応はしない。				
・5月～翌年5月の間で1か月交代で見回りをする。(ポイントに立って見守りをする)				
・基本的には学校が対応し、生活指導部としての行動は特に起こさない				
・人の不審者がに関する事例がない。(サルが出たときは対応した)				
・子供会ごとに対応。(場合によっては集団下校)				
・かけこみ110番に登録している世帯が高齢化により年々減少している。				
・かけこみ110番の場所をマップ化して、生徒又は役員に配布している。				
・参観会の後などに、子供会の世話人が集団下校しながら場所を教えている。				
・生活の授業の中で、通学路の危険箇所等を子供たちに指導している。				
・一部の学校では、かけこみ110番の募集をしていない。				
・個人情報の取扱方法に苦慮している。(どこまで情報を出していいか疑問)				
・生活指導部員＝かけこみ場所になっている。				
② ・年間40日程度旗振り当番をしている。(学期始め、長期休暇明け)				
・基本は子供会が中心となって旗振り当番をする。				
・生活指導部が計画を立てて、地区ごとに割り振りをする。*最低3回は行う。				
・ボランティア中心(生活指導部員が年7回程度)で行う。*小中合同。				

平成29年度富士市PTA副会長・専門部長・家庭教育委員研修会
分科会会議記録簿

平成29年6月25日(日)	会場	富士川第二小・中学校	参加者数	18名
部会名	生活指導部 中学の部		助言者	吉原二中 増田 智昭 校長
司会者	田子浦中 鈴木 章治		記録者	岳陽中 佐野 光彦
テーマ				
◇地区懇談会 ◇地区パトロール				
会議概要				
◇各校の主な活動と自己紹介				
富士川第二中 挨拶運動 富士川第一中 下校安全指導、ハイタッチ運動				
吉原北中 夜間パトロール 岳陽中 下校時見守り活動、ハイタッチ運動				
鷹岡中 挨拶運動、子育て講演会 富士南中 挨拶運動、夜間巡視、学年懇談会				
岩松中 挨拶運動、夜間パトロール 田子浦中 地区懇談会、体育大会巡回				
富士中 かけこみ110番、夜間巡視 大淵中 挨拶運動、地区巡視				
須津中 学年懇談会、運動会巡視 吉原東中 お祭りパトロール、安全指導				
元吉原中 毘沙門天祭パトロール、挨拶運動 吉原三中 かけこみ110番、校内パトロール				
吉原二中 挨拶運動、運動会巡視				
◇地区懇談会				
田子浦中 公会堂に3日間集まり話し合い 先生が学校の活動をスライドで説明				
富士南中 数年前は集まっていたが今は活動していない				
地区に集まるのではなく参観日に学校で学級懇談会を実施している				
◇地区パトロール 夏休みに実施 7校				
大淵中 1回/月以上パトロール実施 コンビニも				
鷹岡中 以前は4回/年パトロールしていたが、何も問題ないので2回に減らした				
卒業式に高校生が来るので、そのパトロール実施				

平成29年度富士市PTA副会長・専門部長・家庭教育委員研修会
分科会会議記録簿

平成29年6月25日(日)	会場	富士川第二小・中学校	参加者数	13名
部会名	家庭教育委員会(小A)		助言者	藤島 保奈美 校長(大淵二小)
司会者	高橋 香織 PTA 会長(田子浦小)	記録者	原田 紫野(岩松小)	
テーマ				
<ul style="list-style-type: none"> ① 卒業式のコサージュ作りについて ② 給食試食会について ③ 委員会の組織について 				
会議概要				
◎参加校 11校 (欠 2校)				
参加者の自己紹介と各校家庭教育委員会の主な活動内容、テーマや知りたい情報等の発表				
◎卒業式のコサージュ作り、給食試食会の二つが各校家庭教育委員会の共通する主な活動				
テーマ①卒業式のコサージュ作りについて				
・手作り 又は 既製品やキットの購入				
→ 手作りのメリット: 心を込めたい、活動が楽しい				
→ 既製品やキットのメリット: 出来上がりが均等、手作りとあまり金額が変わらない				
・単価予算 → 200円 ~ 600円 / 個				
・注文先、購入先 → 生花店、ネット通販、カタログ				
・作成数 又は 購入数 → 約 60個~130個				
・卒業生以外誰に渡すか? → ・生徒のみ ・校長先生、教頭先生、担任の先生、PTA 会長、PTA 役員等の内で各校により				
・誰が作るか? 何人で作るか? → ・役員のみ(1人~4人)で作成 ・保護者ボランティアが自分の子供の分を作成				
・誰が教えるか? → ・役員が生花店に教えてもらい先生代わりになる ・講師の先生、ボランティアの先生、保護者のお花の先生				
・花の種類、数、ケースは? → ・1~2種類の花 ・ケースを付けるところもあり				
「各校により様々で結論はなく、学校の実態・予算・流れによって違うので、その時の状況によって変化して良いのではと思います。」(助言者 藤島校長先生)				

テーマ②給食試食会について

- ・試食会の内容 → 給食参観、配膳、試食、栄養士の講話 など
- ・メニューの決め方 → ・栄養士が決める
・委員会で決める
- ・募集をかける範囲 → ・1年生の保護者のみ
・全学年の保護者

- ・人数をオーバーした場合 → 抽選

- ・費用の集金の仕方 → ・事前 又は ・当日 現金にて集金

テーマ③委員会の組織について

- 学年やクラスから部員を選出する学校や、地区から部員を選出する学校がある
- 部長・副部長のみで委員会が成り立っている学校もある
- 家庭教育委員会は以前の名称が<母親委員会>だったこともあり女性が多いので男性にも活躍してもらいたい

「時代により、話し合ったり、考えたりして、変えていけば良いと思います。」(助言者 藤島校長先生)

平成29年度富士市PTA副会長・専門部長・家庭教育委員研修会
分科会会議記録簿

平成29年6月25日(日)	会場	富士川第二小・中学校	参加者数	14名
部会名	家庭教育委員会(小B)		助言者	岡田進 校長
司会者	秋山 美幸		記録者	石田 幸樹
テーマ 各学校での家庭教育委員会の取組み				
会議概要				
自己紹介及び各学校の活動報告				
<ul style="list-style-type: none"> ・手作り味噌教室、校長先生との座談会、新茶を楽しむ会、親子料理教室、防災キャンプ ・基本、毎年お同じイベントを行っている ・イベントの受入れ方や、やり方を変えていきたいと思うが1年任期なのでなかなか変えられない。 				
コサージュ(卒業式用)作りについて				
<ul style="list-style-type: none"> ・自ら作成している4校、外注している10校 ・伝法小・・・部員でなくても、協力してくれる方を募集してパッケージプラザ等で様々な部品等を 				
購入して作成している。				
<ul style="list-style-type: none"> ・神戸小・・・親子で作成して卒業式の時に親子で協力して作成したコサージュをつけている ・東小・・・色々な店を回ってコサージュ用品を購入し6年生の保護者+家庭教育委員で作成 ・外注で作成している学校も、その年の家庭教育委員の部員によってコサージュの出来に差がある為 				
外注しているがカタログの中から部員で選定して決めている。				
<ul style="list-style-type: none"> ・外注しているがケースに学校と富士山の写真を張ったりしながら工夫している。 ・どの学校もメッセージカードを付けたりしながら、コサージュ1個にかける思いが感じられた ・父親がコサージュ作りに参加しても良いのではないかという意見もありました。 				
他校ではない変わった企画				
<ul style="list-style-type: none"> ・吉永2小・・・家庭教育が主体となり朝、読み聞かせを行っている。 ・マラソン大会のご褒美でジュースやお菓子などの準備をしている。 				
※学校側からの意見としては、学校行事でご褒美を出すのは疑問に思うところもある。				

- ・ 父親委員会があり地域のお祭りの収益を利用してサマーキャンプを行っている学校もありました。
- ・ 大淵第一小では今年度初めての試みでお弁当を大切な人のために子どもたちだけで作成する企画をしています。来年度の研修発表会の時の報告が楽しみです。

岡田校長から

・ 完全に家庭教育委員となって初めての年度になります、母親委員としての良さ、家庭教育委員と
なってからの良さを十分に発揮していただき、父親の参加率を向上する工夫も必要だと思います。
みなさん子供たちのために真剣に悩み考え企画実行していることがよく分かりました。

家庭教育委員会小Bでは、和やかな雰囲気の中、各学校の様々な活動を報告してくれました。
様々な活動報告の中で自らの学校でも活用できる内容も多かった様で各学校メモをとりながら又
コサージュ作りに使用しているカタログ等の写真を撮ったりと実りある研修会だったと思います。

平成29年度富士市PTA副会長・専門部長・家庭教育委員研修会
分科会会議記録簿

平成29年6月25日(日)	会場	富士川第二小・中学校	参加者数	19名
部会名	家庭教育委員会(中)	助言者	赤塚顕宏 校長(元吉原中)	
司会者	小山弘史(富士南中)	記録者	八木祥子(富士中)	
<p>テーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バザー ・給食試食会 ・コサージュ作り ・子供達のSNS 				
<p>会議概要</p> <p>まずは、自己紹介から始まり、学校の特徴や知りたい情報等を発表。</p> <p>田子浦中の方が、成人教育部を2年経て、今年家庭教育委員をされるとの事。 (3年目で違う部になるのは珍しいなと思った)</p> <p>昨年「母親委員」より「家庭教育委員」へ名称変更になり、今回参加された専門部長16名の内 男性の方が2名いました(須津中、吉原北中)。くじ引きで決定との事でしたが、少しずつ父親の協力 促進されていると感じた。</p>				
<p><バザー開催></p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育委員としてバザー開催は10校で、他は環境整備部や成人教育部が実行している。 ・バザーの回収の仕方に苦労している校区が多い。 (例)各地区の役員さんが回収するが、生徒がわからない。 近年は個人情報等で、学校から連絡先を入手出来ない等。 対策校↷ 今年度より三者面談の時に回収してみる(鷹岡中) ・お知らせプリントの配布時期 卒業式や4月 ・開催時期 体育祭の昼休みや文化祭等参加者の多い行事で開催 ・人気バザー <ul style="list-style-type: none"> 1位 ジャージ・制服 2位 体操服 3位 カバン 上履き(受験で換える子がいるので) 				
<p><給食試食会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加人数の確保に悩んでいる校区ある一方で、大人気の校区あり。 対策校区 <ul style="list-style-type: none"> ・メニューを麺類にした(鷹岡中 約34名) ・進路説明会の時に開催(吉原第一中 約40名) 				

<ul style="list-style-type: none"> ・給食の無い日に開催し調理の工程や動線を見せる（吉原第二中 約30～40名） ・修学旅行中に開催（吉原第三中 約15名）
<ul style="list-style-type: none"> ・食器数量等の関係上、修学旅行等の行事に合わせて開催する校区あり。
<ul style="list-style-type: none"> ・開催していない校区 5校 理由；小・中と同じ給食センターな為（富士川第一、第二中）
<コサージュ作り>
作成担当や時期が各校区で独自の実施となっており、コストや時間等の負担減少を図る方法に関する情報交換を実施。
<ul style="list-style-type: none"> ・生徒中心で作成；2月総合の授業で作成➡保護者はサポートの形の為、負担軽減。 （富士川第二中、鷹岡中） ・保護者中心で作成；作成日程を2～3回に分散させることにより参加日程に選択幅を持たせる。 自分の子供のを作成出来る（富士中） ・業者からの購入；コスト負担はあるが時間的負担は大幅に軽減される。 出来上がりをラッピングする（富士南中、吉原東中 約@300円） ・コサージュ自体の内容を検討；独自作成➡キット購入により負担軽減される （岩松中 キット 約@340円） ・制服に穴を開けない対策；グルーガンで挟むピンをつける（吉原第二中）
<子供達の SNS>
<ul style="list-style-type: none"> ・主に携帯電話のメールやlineでのトラブルあり、学校へ苦情が来ることもある。 （例）絵文字やスタンプの解読違いや、既読スルー等。 ・携帯電話を持たせていなくても、友達の古い携帯を借りてメールのやり取りをしている。 ・ゲーム機（Wii U や 3DS 等）でも、やり取りしているので怖い。 ・富士市の時間制限；小学生 21時迄 中学生 22時迄（現状あまり守られていない） ・学校での対策；携帯スマホ教室（保護者自由参加）を開催し保護者にも取り扱い注意を喚起しているが参加者減少が実情。 ・市内中学生のlineグループが存在し、そこで知り合い交際する事もあるので怖い。 （出会い系サイトに類似）
< 総 括 >
<ul style="list-style-type: none"> ・今までのやり方も大事にしつつ過去にとらわれなくて、思い切って違うやり方を試してみるのも良い。 ・違う部会からや初めての方の為に、学校ごとにマニュアルを作成してあげるのも良い。 ・学校への遠慮（配慮）はいらない（PTA 役員の負担軽減の為）。 ・携帯電話有無問わず、子供の相談に乗ってあげて見守る事が大事。
以上